

# 宮城県助産師会便り

983-0045

宮城県仙台市宮城野区宮城野 2 丁目 7-48-101

一般社団法人宮城県助産師会

第 2 号平成 22 年 9 月 15 日発行

## 記録的な猛暑でした。お元気ですか？



### 助産師の言動の影響力

会長 新田みつ子

気象調査始まって以来の猛暑、会員の皆様はいかがでしたでしょうか。

皆様の多大なるご協力により、日本助産師会会館取得のための寄付金完納することができました。ありがとうございました。会館があるということは社会的に認められる要因の一つです。会館の活用をお願いいたします。

さてご存知のように、助産師会は「助産業務としてホメオパシーを使用しないよう徹底する」との声明を発表しました。このことは、ホメオパシーと呼ばれる代替医療に絡み、会員の開業助産所 433 か所のうち 36 か所で過去 2 年間に新生児の頭蓋内出血の予防に必要とされるビタミン K を投与しなかった例があったとする調査結果が公表されました。

専門職である助産師の言動は女性にとって大きな影響力を持っていますので、「助産師の声明」を熟読し、常に最新の情報を取り入れ、「愛・知・技」を研鑽していきましょう。

### 一般社団法人宮城県助産師会ロゴマーク募集

参加：会員 非会員問わず募集します。

用途：会報や名詞等

著作権：一般社団法人宮城県助産師会に譲渡する

わずかばかりの謝金を準備しております。

審査員 理事・役員一同

### ◆◆◆ご案内◆◆◆

助産師の言動の影響力

新田みつ子会長

平成 22 年度助産師会会長

表彰受賞 後藤美子氏

施設内助産師と地域との連携

勤務部会長 高橋純子

全国総会に参加して

後藤美子副会長

開業助産師マップまもなく完成

マップ作成ワーキンググループ

代表 加藤美江子

本部会館寄付金完納のお礼

会計 山岸和子

みやぎ子育て・女性健康支援

センターから

事務局長 田村雪子



松木キネ先生を偲んで

伊藤 朋子氏

理事会報告

編集後記

😊 添付書類

- ・ 事務所利用の申し込みについて
- ・ 支援センター広報紙
- ・ 母乳育児研修会の案内



## 日本助産師会会長表彰を受賞して

後藤美子様

平成22年度通常総会において、54名の諸先輩とともに日本助産師会会長表彰を受けました。式典では、受賞者を代表され、埼玉県支部の荒スミ子先生が謝辞を述べられました。このような晴れの賞を受けましたのは、会員の皆様のご協力ご支援のもとに活動できたからだと心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

私が助産師会に入会したのは就職と同時でしたが、転勤に伴い、久しく脱会しておりました。平成10年に助産師学校に転勤になったのを機会に再入会し、活動をお手伝いしてまいりました。会員歴が途中切れていましたので、活動歴のそう長くない私がこのように賞をいただき、大変恐縮しております。

社会の助産師への期待は多大です。助産師会としては社会情勢を見極め、社会の信頼にこたえられる活動をしていかなければならないと思います。宮城県助産師会の一員として会員一人ひとりが、助産師らしく地域、施設などで活動できるよう、今後も微力ながら支援していきたいと考えております。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。



## 施設内助産師の地域との連携



宮城県助産師会勤務部会長 高橋 純子

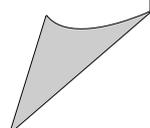
今年の夏は異常に暑い日が続き大変でした。皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は岩沼のスズキ記念病院で勤務をしています。

当院では平成9年から岩沼市と委託契約し、病院の助産師が新生児訪問を行なっています。市の担当者から訪問先のリストが届いたら自宅に訪問し新生児と母親の診察を行ないます。また、エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）を用いて精神面のチェックも行なっています。訪問先の約65%は当院で出産された方なので、褥婦さんからは「顔見知りの助産師さんが来てくれるので安心です」という言葉をいただきます。訪問する助産師も退院後の母子に継続して関わっていけるのでやりがいを感じています。

岩沼市では訪問担当助産師（スズキ記念病院の他に在宅助産師2名が担当している）・市の保健師・精神科医師・臨床心療士が月に1度『新生児訪問打合わせ会議』を行い、訪問ケースの報告やEPDS高値の方のカンファランスを行い今後の対応についても話し合います。また、年1回 岩沼市、名取市、亘理町、山元町の保健師と助産師の連絡会も有り、お互いに顔見知りとなることで患者さんの情報提供がスムーズにできています。

今後も地域とより良い連携をとり、育児支援をしていきたいと考えています。





## 平成22年度(社)日本助産師会通常総会に出席して

平成22年度宮城県助産師会代議員 後藤美子氏

5月28日(金)29日(土)の2日間にわたり、さいたま市の埼玉会館で、平成22年度(社)日本助産師会通常総会に代議員として出席しました。

開会式は小田切房子埼玉県支部長の歓迎のことばに始まり、加藤尚美会長の挨拶、埼玉県知事、さいたま市長、埼玉県医師会長、埼玉県看護協会長の方々から祝辞がありました。それぞれの先生方からの、助産師へのあつい期待を感じました。引き続き55名のかたがたに日本助産師会会長表彰、2団体にすくすく赤ちゃん献金、3団体に感謝状が贈られました。

通常総会は一般会員381名、代議員77名の出席で開始しました。議長団は3名で各部会から1名で、助産所部会から宮城県支部の伊藤朋子さんが担当されました。

審議事項は第1号議案で4名の名誉会員が承認されました。第2・3・4・5号議案は平成21年度事業報告・決算報告及び監査報告、平成22年度事業計画、収支予算案が承認されました。

第6号議案は公益法人日本助産師会定款についてで公益法人取得のための文言を改正したこと。今後も総務省の指導を受けながら改定していくとの説明がありました。(定款の詳細は日本助産師会機関紙 Vol.64 No.3.p76~93 参照してください)代議員から議論不足等の意見が相次ぎ、臨時総会で決議すべき等の意見が出されましたが、代議員投票の結果、本部案のとおりで承認されました。

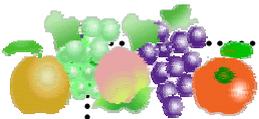
第7号議案の医療職以外の監事の推薦、第8号議案の出版会社の独立は公益法人化に伴う議案で承認されました。

昼休み時間に推薦委員・選挙管理委員選挙が代議員により行われました。

専門部会がそれぞれ行われ、各部会が抱えている問題などについて活発な意見交換がなされたようです。2日目に各部会からの報告があり、代議員により承認されました。

総会に代議員として初めて出席させていただき、諸先輩の社会への貢献を再認識した総会でした。さらに、助産師は現代社会でも数多くのご期待されていることを改めて確認いたしました。活発な意見交換を通して、会員一人ひとりが、自分の求める助産師をめざして努力していることが、伝わってきた2日間でした。

最後に、総会の準備、運営に携わってくださった埼玉県支部の皆様にご感謝申し上げます。



### 「開業助産師マップ作成中」

マップ作成ワーキンググループ代表 加藤美江子

皆様、こんにちは。

三部会の皆様には、6月10日発行の宮城県助産師会便りとともに、「新版開業助産師マップ」作成についてご案内しておりましたが、もうすぐ完成です。

今回、「新版開業助産師マップ」作成にあたり、主に以下の点を工夫しました。

分娩取り扱いの助産院や産褥入院、母乳育児相談など一目でわかるようにする。

地域別の一覧表も新たに入れる。

助産所出産チェックリストを入れる。

一般の方がわかりやすいように、産褥入院という言葉産後の入院とおきかえ、説明を加える。

上記の他に、紹介する側からもマップを手にするお母さん達からも、もっと見やすくもっと活用しやすいように、と何度も話し合いをすすめてきました。

また、マップ作成指導係りとして、後藤副会長、加藤保険指導部長にはご尽力頂きました。理事・役員の皆様には貴重なご意見を頂き大変感謝しております。

皆様のお手元に届きましたら、是非お目を通して頂ければ幸いです。



## みやぎ子育て・女性健康

### 支援センターから

代表 石川初枝

平成 14 年 6 月 1 日に開設し、今年で 8 年目を迎えました。無料電話相談の月・水・金体制、そして平成 20 年からのメール相談開始、その間、講演講師派遣事業を代表石川、そして会員の皆様と共にすすめて参りました。

開設当時、社団法人助産師会宮城県支部(旧名称)は支部長宅となっており、遠方での支部長宅での開設は無理との判断で、ボランティア団体として仙台市の施設に入居(仙台市市民活動センター エルソーラ仙台)、その後、宮城県 NPO プラザへの移転を経て、助産師会事務所の中に転居となり、1 年半を過ぎました。4 回目の引越しでやっと落ち着いた思いです。

みやぎ子育て女性健康支援センター(以下支援センターと称す)は、職能団体としての助産師会とボランティア団体としての支援センターの線引きが理解されず、会員の皆様には種々ご意見を頂戴致したこともままありました。そのつどご説明はして参ったと思っております。思い返すと、線引きが出来たから、今まで公共施設に(そのつど 3 から 4 倍の審査を受けています)お世話になれ、社会からの評価も得られたものと考えております。もちろん、助産師会会員の皆様のご支援・ご紹介があって、この事業の継続が出来たと感謝致しております。いい事業を継続できるのは、誠実でまとまった組織力と思うこの頃です。

今年度は、仙台市宮城野区まちづくり助成の審査会に挑戦致しました。私石川、加藤、小山、田村の 4 人でパフォーマンスありのプレゼンで合格点を頂き、「- 命を育む - 子育て体験実行プロジェクト」を開始します。詳細は、添付の広報紙をご覧ください。この事業に関しまして、多くの会員さんが参加出来るようにとの趣旨で、交通費の支出のみとし、複数の助産師で対応出来るように連絡会にて計画をすすめております。日頃はお忙しい勤務部の方もぜひご参加下さい。小、中学生の可愛い笑顔で、元気になりますよ。

現在の予定は、9 月 8 日向陽台小学校終了、9 月 28 日鶴巻小学校となっております。

広報はこれからです。今後依頼学校は、増えるものと確信しております。と申しますか、今後 5 校以上をクリアすることが助成の条件です。

ごいっしょ下さる方は HP に予定を載せますので、ご覧頂きご連絡下さい。なお、同行の際は、支援センターの会員として登録し、宮城県ボランティア保険に加入して頂きます。

入会のご相談は代表、石川でお待ちしております。



### 本部会館建設寄付金完納のお礼

会計 山岸和子



Thank you

会員の皆様には、本会の運営につきましては、日頃からご支援いただき感謝しております。

日本助産師会館取得に向けて、複数回にわたり、寄付金のお願いをさせていただきました。

おかげさまで、宮城県助産師会の負担寄付金は、7 月 22 日付けをもちまして完納致しました事を報告させていただきます。

多くの方々から寄付金を寄せていただき、本当にありがとうございました。

7 月 22 日以降の寄付金の納入につきましては、平成 21 年度総会の決議をえて一時支払いをしておりました、(社)日本助産師会宮城県支部(旧名称)からのもち出し分 50 万円分の補充とさせていただきます。ありがとうございました。

皆様のますますのご発展とご活躍をお祈りいたし、お礼の言葉と代えさせていただきます。

記

プリンターインク 2 セット 伊藤朋子氏

コピー・PDF 機能つきプリンター 田村雪子

ご寄付頂きました。





## 松木キネ先生 を 偲んで

助産所部会 伊藤朋子

長年、当会のためにご尽力くださっていた松木キネ先生が、平成22年7月17日に享年98歳にて、永眠なさいました。

どんなときも、静かにお茶のお手前のように、うつくしい所作でお産の介助をされる方でした。88歳まで現役を貫かれ、後輩育成に手を差し伸べてくださっておりました。助産所業務ガイドラインができた近年は、骨盤位は医師の管理と決まりましたが、キネ先生は外回転術も得意でおられました。この技の伝承が途絶えるのが悲しいと思い、取材させていただき、日本助産師会の機関紙上で発表させていただいたこともありました。

6600人以上の赤ちゃんを取り上げ、戦中戦後の混乱のなかから、女性たちをずっと支え続けてきたかたです。往年の産婆諸姉様たちと、看護師免許に+助産師教育たった1年という、現代の助産師たちとは、全く迫力が違います。仙台空襲の日のお産の話や、外国の方が5キロの大きな赤ちゃんをお産みになった話・・・かわいらしい余裕の笑顔でにっこりしながら、いろいろ聞かせていただいた日は昨日のようです。マンションのリビングにビニールプールを入れての水中出産にも同行させていただきました。

腰の曲がった小さな人でしたが、10年以上前から携帯電話を使いこなし、誰よりも歩くスピードは速く、そして盆踊り大会のアイドルでした。毎年の母性衛生学会の最後には、いつもすくと挙手され、「おかげさまで助産師を70余年させていただいております。先生方には、いつもお世話になっております。この場でお礼を申し上げます。」と深々と頭を下げる……。伝えなくてはいけないことは、ちゃんと伝える、その姿に毎年感動しました。

キネ先生、先生の域には到底及びませんが、自然なお産と産婆の心を伝えていきたいと思います。お空の上で、後輩たちを見守っててくださいね。

ご冥福をお祈りします。





## 理事会報告

月日	場所	議事	協議内容
4月25日	Uネット	・理事役員体制 ・本部会館寄付金の回収について	・総会決議どおり3,000円ずつ依頼する
6月20日	事務所	・7/25研修会について ・本部会館寄付金の回収について ・開業助産師マップの作成について ・センター会計の依頼について ・県委託事業について ・支援センター体制について ・書記業務の確認 ・H23東北ブロック大会草案 ・事務所管理について	・回収状況確認 ・開業助産師提案 ・伊藤範子氏依頼 ・検討 ・事務局業務確認 ・確認 ・次回草案提出 ・確認
7月11日	事務所	・県委託事業について ・開業助産師マップの作成について ・仙台市感染対策課リーフレットについて ・本部会館寄付金の回収について ・開業助産師からの要望書について	・県担当者参加 ・開業助産師進行状況報告 ・活用したい・契約了解 ・回収状況確認 ・確認
7月25日	事務所	・秋の研修会について 中止（予防接種）H23総会へ ・福島県ブロック研修会参加者の募集について ・開業助産師からの要望書 回答 理事会終了後送付する ・H23東北ブロック大会草案作成 ・開業助産師マップ経過報告	・次回理事会に参加予定となる
8月21日	事務所	・2号機関紙編集 ・県委託事業について ・支援センターからの提案 ・子育て体験参加体制について ・宮城県助産師会ロゴマーク募集について ・宮城県母性衛生学会への発表について	・機関紙にて募集とする ・保健指導部長発表予定 ・開業助産師次回出席とのこと

### 編集後記

今回から理事会の会議項目を載せることにしました。従来会員の皆様には、年1回の理事会と総会においてご報告致しておりましたが、会員からの要請があり、理事会にて決定しこのスタイルに致しました。今後ともご意見、ご要望等、お寄せ下さい。解決の具体策もご提示頂ければ嬉しく思います。助産師は今社会から注目されております。その注目に反しないよう真摯に誠実に、向かい合っていくものと考えてこの頃です。皆様のご活躍を願い、編集後記と致します。

担当・書記 田村雪子